

子育てサロン 1月17日(木)

素敵な寝顔、心がなごみます。

今年も元気を貰えます(広報担当者としての特典?)



元気な泣き声、うらやましい。
大人(老人?の入り口に立った私)は
泣くことすら忘れてしまいました。

九州の民謡に感動！①

先日1月22日、久留米の六つ門(旧ダイエー館)にある、高等教育コンソーシアムで行われた「筑後川の歴史を民謡で語る」という市民講座に参加しましたので紹介します。

ホールでなく教室の間近で聴く機会は初めてで、90分の間に九州を中心とした19曲の民謡と久留米大学の矢野栄次教授の軽妙な解説も聞きながら楽しみました。演奏と唄は「鐘ヶ江社中」の皆さん方8名で、福岡県大川市在住で全国的にも活動されています。尺八、三味線、太鼓、鼓はもちろん唄も最高で感動しました。

筑後川の歴史は大川市が玄関口といわれ、水量が今の3倍位多かった川を下り、有明海を介して北上、又南下し鹿児島、四国へと交易し、古代から開けた土地であったようです。

まずは①「伊勢音頭」と②「筑後伊勢音頭」(福岡三潴地方で唄われている)の二曲が唄われました。

「伊勢音頭」は伊勢神宮参拝の帰りに古市(伊勢市)の遊郭へ上がった客らによって全国に広まった民謡ですが派生した歌に「博多祝い唄」があります。ご存じの「祝いめでたの若松さまーよ 若松さまーよ・・・」で始まる唄で最後は博多手一本で締めるのが多いようです。伊勢参りとは三重の伊勢神宮にお参りする事ですが、江戸時代からは同様に九州各地の農村から農閑期の小旅行に英彦山参りが人気だったそうです。なぜかと言うと、伊勢神宮は天照大神(あまてらすおおみかみ)を祭り、英彦山は天忍穂耳命(あめのおしほみのみこと)(天照大神の御子)を祭る、いわゆる太陽(天照大神)の子 日の子→彦→英彦山 だそうです。現在の英彦山と書くのは江戸時代、1729年霊元法王の院宣から英をつけ彦山が英彦山になっています。また農家はお伊勢参りに稲の種籾を持参し日本各地の人と交換していました、このことが米の普及、品種の改良等で増産に大いに寄与したと言われていました。余談ですが夜逃げでもお伊勢参りして帰ってきたら借金が棒引きされたとも言われています。皆の憧れでもあり、お金と時間が掛かる事だったのでしょう。

(1丁目蒲生)

環境委員からのお知らせ

1 不燃物置き場の近況について

(1) 不法投棄(分別されていない。期日が違う。袋が違う。)の件
12月27日～12月31日にかけて1丁目の不燃物置き場の前に8袋のスーパーの袋等に入れられた次のものが捨てられていました。

- ① ワイン、焼酎その他のアルコール飲料のビン、缶
- ② ペットボトル
- ③ 燃えるゴミ(アルコール飲料の紙袋。)
- ④ 乾電池

(2) 1月の回収されなかった不燃物

1月は、月間を通じ、1丁目から3丁目までの回収されなかった袋がわずかに4袋でした。

全て「ビン、缶」の袋で、回収されなかった理由は、20cm以上の大きさのスプレー缶や、クッキーの缶等が入っていたためでした。缶であっても1辺が20cmのものは、「陶器、金属」の袋に入れて出してください。

20cmのめやすとして、自分の手のひらをいっぱい広げた中指から親指の先までの長さを知っておけば便利です。

なお、回収されなかった袋が月間を通じて4袋というのは、私の、2年間ほどの経験では初めてです。

現在、班長さんの方で回収されなかった袋は、再分別してもらっておりますが、皆様方のご協力の賜物により、回収されない袋が減ってきて班長さんのご苦労が少なくなることを願っています。

2 電柱の移設に伴う交通安全について

スポーツ公園近くの3丁目の外周道路から大野城市に降りる階段の近くにあった電柱が自動車の通行の妨げになることから、反対側に移設されました。

このことで、見通しもよくなり、道幅も広くなったのですが、今度はスピードを出しすぎる車が見受けられるようになりました。

ここは、道路が「く」の字型に曲がっており、電柱を移設した分、見通しがよくなりましたが、対向車はよく見えないことがあります。階段の近くは子供が遊んでいたりと、通行者もおります。

制限速度30kmをまもられて、子供や通行者のため、交通安全にご留意いただくようお願いいたします。

あなたは知っていますか！

塚原台内の道路のスピード制限は何キロでしょうか？